

くまがみね

学校だより

平成 26 年 10 月 29 日

福山市立熊野小学校

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。学校では、11月15日の学習発表会に向けて練習が始まって、子どもたちは、練習をがんばっています。休憩を返上して練習している子どもたちの姿は、やる気いっぱい輝いています。保護者や地域の皆さんに見ていただくことが子どもたちの励みになっているのだと思います。子どもたちが本番を終えて達成感を持てるよう、日々の練習を大切にして、指導していきます。

11月15日には、ぜひ発表会を見に来てください。お待ちしております！！

巣箱かけ



5年生がPTC活動で作った巣箱を4年生は校庭に、5・6年生は小鳥の里に巣箱かけをしました。はしごをかけて、古い巣箱と新しい巣箱を付け替えました。古い巣箱の中には、小鳥が作った巣やヒナがかえった後卵のからや泥で作ったような巣も残っていました。自分たちが置いた巣箱が役だっていることに子どもたちはとてもうれしそうでした。

熊野の地には、沢山の自然があります。小鳥の里もその一つです。小川を流れる水の音、石を包むコケや小鳥のさえずり、そして風にそよぐ緑の木々。そこに行くだけで優しい気持ちにしてくれます。

巣箱かけは、昭和52年から37年間も続いている熊野小の伝統になっています。来年もまた、子どもたちと一緒に巣箱をかけに行きます。保護者の皆様、夏の間に下草刈りをしてくださったり、巣箱を作ったりしてくださってありがとうございました。

自分たちが生まれる前の熊野町を知ろう！

4年生が総合的な学習の時間に、福山空襲の頃の熊野町の様子について学習しました。大富の貝田先生に来ていただいて教えていただきました。戦争で犠牲になった方々を悼む忠魂碑が大富の法縁寺にあることや当時の小学校の様子、福山空襲の様子などを聞きました。自分たちの住んでいる熊野町の名前の由来等も合わせて話してくださいました。貝田先生の「平和の敵は心の乱れ」「今を一生懸命生きる」という言葉は、子どもたちの心に残る言葉となりました。



いもほり



2年生が白寿会の広川会長さんに指導を受けながら、さつまいもをほりました。ちゃんといもができていけるかな？心配そうな顔も、掘りはじめたたん、「あったー！」「チョーでかい！」「何個もあるよ！」とイモを掘る手ははくなり、大きいから細くて小さいものまで、一つも畑に残らないようにほりだしました。もちろん自分たちでも水やりをしました。夏の間、ずっと水やりや草取りをしながら様子を見てくださっていたおかげです。ありがとうございました。後日いも掘りの様子を絵に描きました。どの顔も楽しそうです。熊野町文化祭の日に体育館に掲示しています。ぜひ、ご覧ください。



～大きいもができていますように～